



TITLE:

故吉村達次教授略歴・著作目録

AUTHOR(S):

---

CITATION:

故吉村達次教授略歴・著作目録. 經濟論叢 1966, 97(2): 248-250

ISSUE DATE:

1966-02

URL:

<https://doi.org/10.14989/133109>

RIGHT:

# 經濟論叢

第九十七卷 第二號

---

哀 辭

故吉村達次教授遺影および原稿

国債発行と金融政策 .....	中 谷 実	1
アージリスの組織理論 (1) .....	田 杉 競	16
貸借対照表という用語の創出過程 .....	高 寺 貞 男	30
独占価格と生産価格 .....	松 石 勝 彦	51

記 事

吉村教授逝く

追悼文 (池上 惇 林 直道 松井 清)

追憶談 (坂寄俊雄 稲垣 武 原田篤己)

故吉村達次教授略歴・著作目録

---

昭和四十一年二月

京都大學經濟學會

## 故 吉村達次 教授 略歴

大正5年(1916)12月24日	京都市に生れる
昭和9年(1934)3月	京都府立京都第一中学校卒業
昭和12年(1937)3月	第六高等学校文科乙類卒業
昭和12年(1937)4月	京都帝国大学経済学部入学
昭和16年(1941)5月	治安維持法違反により起訴された為、無期停学処分を受く
昭和17年(1942)5月	復学
昭和17年(1942)9月	京都帝国大学経済学部卒業
昭和22年(1947)5月	京都帝国大学大学院入学(昭和23年5月まで)
昭和22年(1947)7月	京都府立京都第一中学校講師囑託(同年12月まで)
昭和22年(1947)7月	私立菊花女子専門学校講師囑託(昭和23年3月まで)
昭和23年(1948)6月	京都大学経済学部文部教官
昭和25年(1950)1月	京都大学経済学部講師
昭和25年(1950)3月	京都大学職員組合書記長(昭和26年3月まで)
昭和25年(1950)6月	京都大学経済学部助教授
昭和25年(1950)10月	補導委員(昭和26年12月まで)
昭和27年(1952)6月	分校非常勤講師併任(昭和28年3月まで)
昭和28年(1953)4月	大学院経済学研究科授業をあわせて担当
昭和30年(1955)5月	教養部非常勤講師併任(同年12月まで)
昭和32年(1957)3月	京都大学職員組合中央執行委員(昭和33年3月まで)
昭和34年(1959)4月	教養部非常勤講師併任(昭和35年3月まで)
昭和36年(1961)10月	大阪外国語大学講師併任(昭和37年3月まで)
昭和36年(1961)10月	立命館大学経済学部非常勤講師(昭和37年3月まで)
昭和37年(1962)3月	経済学博士(経第78号)
昭和37年(1962)4月	大阪外国語大学講師併任(昭和38年3月まで)
昭和37年(1962)4月	立命館大学経済学部非常勤講師(昭和38年3月まで)
昭和38年(1963)4月	立命館大学経営学部非常勤講師(昭和39年3月まで)
昭和39年(1964)4月	立命館大学法学部非常勤講師(昭和40年2月まで)
昭和39年(1964)6月	中華人民共和国科学院の招請により訪中(同年7月帰国)
昭和41年(1966)1月	京都大学経済学部教授
昭和41年(1966)1月21日	くも膜下出血のため逝去

## 故 吉村達次 教授 著作目録

## 著 書

恐慌論の研究—循環と変動の

三 一 書 房

昭和36年(1961)

理論—

## 論 文

生産力の主体について

経 済 論 叢 第62巻第4号 昭和23年(1948)10月

抽象的労働に関する若干の問題

経 済 論 叢 第65巻第4・5号 昭和25年(1950)5月

山本二三丸「恐慌論研究」

経 済 論 叢 第67巻第1号 昭和26年(1951)1月

(共著)(書評)

価値形態と価値実体

経 済 論 叢 第71巻第1号 昭和28年(1953)1月

三菱支配下の地方民族産業の実

経 済 評 論 第2巻第12号 昭和28年(1953)12月

態—京都S製作所の場合—

経 済 評 論 第2巻第12号 昭和28年(1953)12月

(共著)

資本制生産社会の基本矛盾と恐慌

経 済 論 叢 第72巻第6号 昭和28年(1953)12月

軍事経済下における民族資本と

経 済 評 論 第3巻第1号 昭和29年(1954)1月

労働者階級

資本主義の基本矛盾の展開と資本

経 済 論 叢 第73巻第4号 昭和29年(1954)4月

本の蓄積

軍事経済と国民経済

島 恭彦・松井清他編「経済学講座」第3巻「現代資本主義の経済と政治」Ⅱ 昭和29年(1954)10月

大月書店

機械染色業(共著)

藤田敏三・金持一郎編「日本の中小企業」日本評論社 昭和30年(1955)6月

ケインズにおける投資概念の解体

経 済 論 叢 第79巻第1号 昭和32年(1957)1月

再生産の法則と利潤率均等化法則

経 済 論 叢 第82巻第6号 昭和33年(1958)12月

恐慌論研究の成果は何か

経 済 評 論 第7巻第12号 昭和33年(1958)12月

搾取の条件と実現の条件の不一

京都大学経済学部創立40周年 昭和34年(1959)5月

致について

記念「経済学論集」(再録)横山正彦編「マルクス経済学論集」河出書房新社 昭和35年(1960)10月

いわゆる転形問題の逆説

経 済 論 叢 第83巻第6号 昭和34年(1959)6月

資本主義の運動法則における論

経 済 論 叢 第84巻第5号 昭和34年(1959)11月

理的なものと歴史的なもの(1)

資本主義の運動法則における論

経 済 論 叢 第84巻第6号 昭和34年(1959)12月

理的なものと歴史的なもの(2)

資本主義の運動法則における論

経 済 論 叢 第85巻第6号 昭和35年(1960)6月

理的なものと歴史的なもの(3)

堀江英一「産業資本主義の構造

経 済 評 論 第9巻第7号 昭和35年(1960)7月

理論」(書評)

経済学の現実的出発点について

経 済 論 叢 第87巻第4号 昭和36年(1961)4月

—資本主義の運動法則にお

ける歴史的なものと論理的なも

の(4)—

- 資本論をいかに読むか 京都大学新聞 昭和36年 5月15日号 昭和36年(1961) 5月
- 宇野理論を批判する 京都大学新聞 昭和36年 6月12日号 昭和36年(1961) 6月
- 宇野弘蔵著「経済学方法論」(書評) 季刊経済創刊号 昭和37年(1962) 6月
- 経済学をどのように学んだらよ 京都大学経済学部学生会「学生論叢」創刊号 昭和37年(1962) 9月
- 国民経済・世界経済恐慌 宇高基輔・島恭彦他編「マルクス経済学講座」有斐閣 昭和37年(1962)10月
- 現代資本主義と国家 豊崎教授還暦記念論文集「現代資本主義の研究」日本評論社 昭和37年(1962)11月
- 宇野氏「経済法則」論批判 立命館経済学 第11巻第5・6号 昭和38年(1963) 2月
- Accumulation and Renewal of Fixed Capital in Expanded Reproduction The Kyoto University Economic Review Vol. 33, No.1 April 1963
- 統計でみる社会科学 倫社・政経篇(共編著) 雄渾社 昭和39年(1964) 3月
- レーニン「帝国主義」論の段階規定について 経済論叢 第94巻第5号(豊崎稔教授記念号) 昭和39年(1964)11月
- 経済学における理論と実践—下向・上向法の弁証法について— 経済論叢 第95巻第6号 昭和40年(1965) 6月
- 古典研究「レーニン『マルクス主義の三つの源泉と三つの構成部分』」(1) 経済 第16号 昭和40年(1965) 9月
- 古典研究「レーニン『マルクス主義の三つの源泉と三つの構成部分』」(2) 経済 第17号 昭和40年(1965)10月

## 辞典

- フォイエルバッハ 大阪市立大学経済研究所編「経済学小辞典」岩波書店 昭和26年(1951) 6月
- 最大限利潤 大阪市立大学経済研究所編「経済学小辞典・増訂版」岩波書店 昭和31年(1956) 4月
- 資本主義的生産の無政府性；資本主義の基本矛盾 大阪市立大学経済研究所編「経済学辞典」岩波書店 昭和40年(1965) 9月

## 未発表遺稿

- 商品：資本主義の基本矛盾 (「マルクス経済学体系」I 第1篇「資本の生産過程」IIとして有斐閣より刊行される予定)
- レーニン「弁証法の問題について」 (「経済」に発表予定)
- 経済学方法論—宇野理論批判—(豊崎稔・林直道他編) (雄渾社より、昭和41年(1966) 5月刊行予定)